平成２８年度　小諸野岸幼稚園　「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

１．園の教育目標

⑴ 明るく元気に遊べる 子ども

⑵ 豊かな感性と自分の気持ちを表現できる子ども

⑶ 自分から気持ちよくあいさつできる子ども

２．本年度の重点目標

「しぜん」…　自然に対する感性を高める。ふしぎ・発見・調べ活動、話し合い活動。

「おはなしの日」…　聞く姿勢、集中して聞く。本に対する興味関心。感じたことを発表・表現する。

「あいさつ」…　あいさつ集会で場に合ったあいさつを知る。大きな声で元気にあいさつし合う。

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

４．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

⑴　野岸幼稚園は、いろいろな大切なことを教えてくれる。親以外から学ぶことが多い。子どもも大きく成長している。知らないうちに字が書けたり、数字も分かったり・・・。

⑵　園長先生が毎日園門に立ち、地域の人とも関わってくれている。先生方も、大きな声でのあいさつや地域とも積極的に関わっていただき、たいへんありがたい。園児のあいさつも素晴らしい。

⑶　連絡帳の必要性についての考えは、家庭によってまちまち。バス通園の場合、親が先生と話す機会が少ないので連絡帳が重要。連絡帳の是非でなく、保護者とのコミュニケーションを大事にしていってほしい。

⑷　今年度はじめて、PTA 役員として入園相談に参加させていただいた。幼稚園について分かってもらうために、今後も必要。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

⑴　本年度の重点目標３点については、それぞれ取り組みの成果が表れている。次年度は引き続きこの３点を継続するとともに、人間関係の構築のために「あそび」を新たに加えて研究・実践していきたい。

⑵　保護者への連絡体制については、保護者とのコミュニケーションを第一としながら、職員同士の連絡体制や情報の共有をさらに深め、連絡帳の記入内容についても検討していきたい。

⑶　園児募集に向けて、地域の実情や子育てニーズの情報収集について、ＰＴＡと協力して進めていきたい。また、野岸の良さをアピールするための公開の内容について工夫していきたい。（楽しい園、育つ園）